

1. 内外政

- ・2日、カンドゥ副首相兼経済相は、モルドバの欧州統合の希求が同国とロシアの経済関係を損なうことはない旨発言。
- ・4日、レアンカ首相はエルドアン・トルコ首相と電話会談を実施。両者は、ガガウズ自治区を巡る状況に関し議論。レアンカ首相は、ガガウズ自治区が両国関係の間で担う役割につき言及し、モルドバが同自治区の法的地位に関する法改正案を作成した旨発言。
- ・6日、レアンカ首相は、農業関係者と面会し、ロシアによるモルドバ産農産物の輸入制限による損失補填に関し議論。
- ・8日、「沿ドニエストル共和国国家保安庁」ウェブサイトにて、

ウクライナにおいて戦争が生じた場合、同「国」の参戦の可能性は排除しないとの声明が発出。

2. 経済

- ・7日、牧野外務大臣政務官、坂田駐モルドバ日本国大使、ウサトイ・モルドバ保健相等が参加し、チシミリア地区で平成24年度対モルドバ草の根・人間の安全保障無償資金協力「チシミリア地区における医療機材更新計画」の引渡式が開催。供与金額は約55,000ドルであり、本案件の実施により、地区住民約60,000人がより良質な医療サービスの提供が可能。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)